

止戈樞要卷十三 師律要畧

從位行佐守丹澹人增業著

職掌十

夫長柄足輕者鉄炮弓ノ兩種ニ替

リ敵合近シテノ働ナルニ因テ是

ヲレテ武士同前ノ働ヲナシム

ルコト長柄奉行ノ取役也古者弓

ト長柄ト騎馬トノ三種ヲ組合テ

法ヲ備タルニ依テ長柄モ能時ノ
用ニ立用所無費ト見ヘタリ故上
古長柄ハ柄モ短ク鎧ノ身モ能鍛
テ令持足輕モ撰其人用タリ其故
ハ弓ノ迫合終リ歎合近成ト長柄
ニテ一段クビ苗其勢ニ乗テ騎馬
出テ懸立タリ末世ハ鉄炮迫合近
成ト騎馬出テ鎧ノ合ト早シ故ニ
長柄ヲ用ル心ヲ不知是ハ軍中ニ
令持役儀一旦ノ様ニ心得又ルト

見ヘタリ尤末世ノ長柄ノ様子ハ
役儀一旦ノ用武士ノ飾計ニシテ
全ク不可有用如何トナレハ先長
柄足輕共其鎧ノ振廻様トテ年ニ
一度モ替古スル事不見持様サハ
知ヌ中間族重キ鎗ノ身モ鈍キラ
肩掛出タレハトテ何ノ益トモ難
弁免レテ人間ノ諺何事モ物ノ費
十カラムコトヲ要トス雖然此理
心ニ知ン人ハ心ノ外世ト推移リ

内ニ用ル可有心得故ニ良将ハ外
愚ニシテ内明ナリト云心ヲ通シ
テ可有得悟
長柄足輕武功十四ヶ条之事
一組合法度足並懸引之法前ノ以足
輕心ヲ可作口傳
一鑓合ノ時ハ專騎馬ヲ救ヒ敵ノ可
突横口傳
一既ニ鑓合ノ時敵ト可鑓法需テ勿
突敵一文字ニ上ヨリ打掛ベシ是

大益ノ法ナリ或救騎馬時ハ敵ノ
足ヲ薙ヘシ尤五人組ノ心不可忘
一馬上ノ敵ヲハ馬ノツラヲ可打馬
ノ足ヲ薙或ハ牛繩或ハ三寸ヲ可
打口傳
一強敵ニ長柄柵ト云事アリ口傳
一味方敗スル時長柄垣ト云事アリ
口傳
一野合ノ合戦ニ引受ノ境ト云長柄
ノ用様アリ口傳

一 木屋固野陣 = 有長柄口傳
 一 長柄ノ鍛練 = 鑊竹力其外柄熊手
 長棒等 = テ地馴レノ事口傳
 一 長柄拵ハ身ヲモ能鍛午輕キ様 =
 レテ然モ丈夫 = 拵武士ノ替鑊 =
 モ用ル様 = 可禰事口傳
 一 長柄 = 長短或ハ鑊等ノ不同ヲ心
 得ノ事
 一 其足輕ヲモ能撰ヒ其心ヲ令一和
 侍日前ノ傷ヲ不入事口傳

一 長柄足輕 = 入真事口傳
 一 長柄必勝ノ布法事口傳
 一 長柄ヲ先 = 並ル事ハ飛物ヲ除武
 者ノ楮 = 成故也
 一 呆方ノ武者色ヲ包イキホイ強レ
 武者カコイヌイテハ後ヲワメ弓
 架ノ徳アル事
 一 馬ヲ入ルテナラヌ呆方ノ武者強
 持ナリ
 一 備ノ埒ト成テ拔懸ト云テ不成

一 跡武者先ノ程合知ル故ニ鋒涯ヲ
 不疑故ニヲキロヲ不遣場騷立十
 一 備之後ニナラヘテハ不意ヲ不被
 討
 一 思ヨラナル方ヨリ急ニ敵ヨスル
 一時ハ長柄ニテ拒キ其後ヨリ鉄炮
 一 ヲ可仕懸
 一 夜討ニテ引取虎口ニ太坊ヲ付ル
 一時長柄ノ

一 夫敵ト併對シテ鎧ヲ合スル則ハ
 戦ヲ不横ヘメ彼之ヲ鎧長ニ曳受
 テ上ヨリ落蒐ヲ下ヨリナクテ可
 上ク者ナリ凡ソ戦場ニソシテ
 敵ヲ破ルコトハ柄ノ長キヲ以テ
 勝鎧ト云ナリ故ニ古人ノ曰五寸
 長ヲ関ト云一尺長キヲ破ト云以
 以長柄ト云ハ三間半四間柄ヲ用
 ルナリ鎧ノ鋒ハ三寸六分七分ニ
 ヲ三角ノ劍鎧タルベシ或ハ長柄

ノ関ニ長ケ九寸ニ摩ヲツクル
有是ヲ敵ノ目瞽ト云所謂心持ハ
烈シキ勝負ニ不荏者ハ此利有事
ヲ不可知
一敵ヲ待受テ戦則ハ上段下段ノ組
合ヲナシテ彼之ヲ可待者也所謂
上段下段ノ裏ニ立テ戦ヲ不横へ
シテ架へシ亦下段ハ備表ニ有テ
何レ氏跪テ鋒ナラメ鑓符ヲ作テ
彼之ヲ可待者ナリ如快則ハ敵進

来テ必ス下段ノ者ニ可取組然処
ヲ上段ノ鑓ハ上ヨリ頻ニ落シ菟
テ討立ル則ハ敵剛ト云氏大可敗

軍事

一上段下段ノ組ヲ合スコトハ上段
ヲ用テ鑓ヲ上ヨリ落菟ルト云へ
氏敵必ス其鑓下へ入り来ルコト
有取以ナリ如此ノ則ハ彼之一人
ノ虎口ヲ以テ味方ノ惣敗軍トナ
ルモノナリ故ニ下段ハ敵ノ入事

ノ防キ上段ハ上ヨリ落蒐テ敵ヲ
可討崩クメナリ若シ上段下段ノ
組合ナクシテハ縦長柄ヲ用ト云
トモ必ス勝味不可有但シ上段ハ
長柄下段ハ小道具ヲ用ルナリ所
謂上段ハ逆ニ架ヘ下段ハ哽ニ可
架事

一味方ハ高キニ在テ下キヨリ攻メ
上ル敵ト鏖組則ハ急ニ下蒐テ敵
際ヲ近ク可鏖組若敵際遠クハ

彼之拙突メ責上ル事有ニ依テナ
リ
一敵勢累卒ノ責上ルヲ追下サント
スレトモ彼之不白メ攻上則ハ鏖
ヲ五本モ七本モ甲ヨリ急ニ抛蒐
レハ彼之大ニ敗軍シテ頽レ北ル
也
一或ハ責上リ或ハ攻下ルニモ高下
氏ニ敵ト鏖組則ハ幾度モ我之鋒
ノ下鏖ニ成様ニ鏖合ヲスルナリ

若し高下氏に敵の鋒ヲ下午に受
ル事有ラハ必乙度可有夏
一高キ処ノ敵ト鎗合ラスルニ味方
ノ下鎗ノ鋒ハ敵ノ足ニ近シテ彼
之上鎗ハ我之身ニ遠キ者ト
ハ彼之甲ヨリ上鎗ニ成テ頻ニ落
菟ルト云トモ我之勢ハ甲ヲ行向
テ下キヨリ掃上ケテ責上ル則ハ
敵ノ上鎗ハ皆背ケテ大ニ可逃上
ルナリ

一我ハ高ニ在テ下キ敵ト鎗組ム時
ノ下鎗ハ味方ノ足本ハ敵ニ近シ
ト云ハトモ彼之上鎗ノ鋒ハ我之
身ニ遠キ者ナリ但シ一騎合ノ鎗
合トハ相違スルコトアリ氏大軍
ノ會釈ハ幾度モ如矢人是ハ其徳
分數多有ニ因テナリ
一先手ハ上段下段ノ架ハニ人鋒ヲ
堅シテ具後ハニハ左ノ次ニ右ノ
次ニ歩者ヲ備テ敵方ハ一隊ノ様

一 視セ 蒐テ 彼之ヲ 可待者ナリ 敵
 來テ 迭ニ 鑿組ム 則ハ 歩者 策凱 横
 相ヲ 入レハ 馬上ニ 其利ニ 乘テ 是
 ハ 凱ヲ 舉ル 事ナクシテ 急ニ 進テ
 横馬ヲ 可入如此 則ハ 敵剛強ト云
 一 氏大ニ 崩レ 可北ク 者ク
 一 歩者ノ 横相ハ 野太刀ノ 者ト 小道
 一 具ノ 者ヲ 組合テ 一牛ト 成ニ 誘騎
 一 一人付テ 右ノ 次ニ 可備 所謂 歩者
 一 ノ 横相ハ 彼之 氣ト 心ヲ 一方ニ 奪

取テ 潛ニ 馬上ノ 横併ヲ 以テ 入可
 崩謀也



止戈樞要卷十三終

